



2026年(令和8年)7月28日

**大広、地域社会の課題解決を目指す
「近畿四国ソーシャルインパクトファンド」へ出資
～近畿・四国エリアにおける事業連携・共創を通じて、地域社会に貢献～**

株式会社 大広(本社:東京都港区、代表取締役社長:泉恭雄、以下「大広」)は、プラスソーシャルインベストメント株式会社(代表取締役社長:野池 雅人、本社:京都市上京区)が運営する「近畿四国ソーシャルインパクトファンド 投資事業有限責任組合(以下 KSSIF とする)」へ出資いたしましたのでお知らせいたします。



DAIKO



PLUS SOCIAL
Investment

大広は「顧客と社会に愛され続けるブランドを企業の志とともにつくる」というミッションのもと、企業や社会のサステナブル・トランスフォーメーション(SX)を支援する伴走活動を推進してまいりました。なかでも近年はパートナー企業との共創を通じた地域や自治体の課題解決を目的とした事業に取り組んでおります。

本ファンドの投資対象である近畿・四国エリアは、大阪で創業し、現在も大阪に本店を置く当社にとって主要な事業展開地域です。今回の出資を通じて、同エリアにおける地域課題や新たなビジネスモデルへの理解を深めるとともに、ファンド運営者や投資先企業との事業連携および共創の機会を模索してまいります。

将来的には、当社が培ってきたマーケティングやコミュニケーション設計のノウハウを活かしたサポートや、当社パートナー企業との共創での新たな領域での事業参画で、地域に根ざした事業の持続的な成長を支援し、地域社会の課題解決に貢献していくことを目指します。



■KSSIFについて

KSSIFは、休眠預金等を活用し、近畿・四国エリアにおいて社会課題の解決や社会価値の向上を目指すシード・アーリーステージの企業に対して、出資とハンズオン支援を行う地域特化型のインパクトファンドです。地方自治体などが担えないサービス、一次産業、観光業、ケア産業、地域インフラ事業の5つを注力領域とします。これらの領域についてこれまでの事業構造を大胆に変えていくような新規事業、ローカルベンチャーの誕生を、ファンドを通じて後押しするとともに、地域で働く人の負担軽減や多様性が促進されるような環境・仕組みの充実も同時に目指します。これらの地域構造に対して出資のアプローチで取り組むことで、純粋な経済的リターンの獲得だけでなく、事業が生み出す社会的効果を定量的・定性的に測定・管理(IMM:インパクト測定・管理)しながら、事業成長と地域課題の解決を後押しすることを目的としています。

■プラスソーシャルインベストメント株式会社 代表取締役社長 野池雅人氏のコメント

このたびは、近畿四国ソーシャルインパクトファンドへのご出資ならびにご連携を賜り、心より御礼申し上げます。

長年にわたり培われてきたマーケティング・コミュニケーション領域における豊富な知見と幅広いネットワークを有する大広様にご参画いただけることを、大変心強く感じております。

当ファンドは、地域課題の解決にとどまらず、地域に新たな挑戦が生まれ続ける仕組みづくりを目指しています。その実現には、資金の提供だけでなく、多様な知見やネットワークを持つパートナーとの共創が不可欠です。

このたびのご縁を大切に、大広様との連携を通じて、投資先企業の挑戦を後押しするとともに、地域における持続的な価値創出とシステムチェンジの実現を共に目指してまいります。

■近畿四国ソーシャルインパクトファンド(KSSIF)概要

名称:近畿四国ソーシャルインパクトファンド投資事業有限責任組合

無限責任組合員(GP):プラスソーシャルインベストメント株式会社

投資対象:社会課題解決や社会価値の向上を目指す近畿・四国エリアの企業

■プラスソーシャルインベストメント 株式会社(PSI)概要

社名:プラスソーシャルインベストメント 株式会社

代表者:代表取締役社長 野池 雅人

本社所在地:京都市上京区河原町通丸太町上る出水町 284 番地

設立:2016年4月

事業内容:ファンド組成・販売業務、社会的投資プラットフォームの構築・運営業務、地域課題解決に関するコンサルティングなど

URL:<https://www.psinvestment.co.jp/>